

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

別添資料6

公表：2022年 3月 1日

事業所名 発達支援ルームピースプラント

保護者等数(児童数) 20 回収数 19 割合 95 %

	チェック項目	評価			ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	19				運動を行うには十分なスペースである。安全に配慮してスペースを確保する。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	18	1			職員の子どもに対する声掛けが適切だと感じる。今後も保護者の方や子どもの情報交換を行い、成長を促していきたい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	19				絵カードなど視覚支援などの設備も完備している。移動手段は階段とエレベーターがあり、必要な方には介助をしている。個別療育の為、利用児童に合わせた関わりを行っていききたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	19				療育室内は広く、活動をしやすい環境になっている。今後も療育室内を清潔で、安全に療育出来るようにしていきたい。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	18			1	子どもの心も体もとても成長しているから。子どもの成長に合わせて、保護者の人と話をした支援計画を作成していきたい。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	18			1	運動の楽しさを教えて頂いているから。今後も子どもや家族に支援出来るようにしていきたい。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	18			1	子どもに合った支援が行われており、とても成長を感じる。今後も子どもの成長に合わせて支援をしていきたい。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	16	3			先生によって差があるように感じる。個々に合わせた活動を考案し、マンネリ化しないようにする。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある					サービスなし。子どもに合わせて必要な支援があれば、そのような機会を作っていけるようにしていきたい。
適切な支援の提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	16	3			その都度に説明を受けている。今後も保護者の方に必要な情報を分かりやすく説明し、保護者の方が安心できるようにしていきたい。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	18			1	支援計画やモニタリングなど直接説明を受けている。保護者の方と情報交換をしていき、子どもの成長を促していきたい。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている					サービスなし。療育後など保護者に情報交換を行い、家族の方に支援できるようにしていきたい。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	16	3			体調や集中力などその日の状態に合わせていただけるので助かります。ルールやコミュニケーションの取り方など子供の課題に合った課題を行って聞いている。今後も療育だけではなく、保護者の方と情報交換できるようにしていきたい。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている					サービスなし。今後も療育だけではなく、保護者の方と情報交換し、少しでも成長につながるようにしていきたい。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている					サービスなし。保護者同士でコミュニケーションが取れる機会を作りたい。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	16	3			児童発達支援管理責任者やリーダーが主に対応されている。今後もどの職員でも相談し解決できるようにしていきたい。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	18	1			専門的な視点から話を伺うことができ、家でも試せることを教えていただいております。保護者の方と情報交換をしていき、子どもの成長を促していきたい。
18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている					サービスなし。保護者の方に分かりやすいようにしていきたい。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	19				ご意見無し。	今後も個人情報の扱いには十分注意していきたい。
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	19				避難経路図が保護者席から見える位置に配置してある。	今後も定期的に出来るようにしていきたい。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	19				避難訓練に参加したことがあります。迅速な対応でした。	今後も職員も意識できるようにしていきたい。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	16	3			来ることを楽しみにしている。先生と一緒にいることを園でも友達と遊んでいる。	今後も子ども達が楽しめるような課題に取り組んでいきたい。
	23	事業所の支援に満足している	18	1			今までで出来なかったことができるようになった。日常生活での色々な動作がスムーズになった。	今後も子ども達に達成感を感じてもらえるような支援をしていきたい。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

別添資料11

公表: 2022年 3月 1日

事業所名 発達支援ルームピースプラント 保護者等数(児童数)57 回収数 52 割合 91 %

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	50		2		天井が低い。	安全に配慮してスペースを確保する。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	50	2			毎回しっかりと向き合ってくれる。保護者の意見を取り入れてくれる。	研修や職員間の情報の共有を通してより良い療育を行う。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	50	2			絵カードなど視覚支援などの設備も完備している。移動手段は階段とエレベーターがあり、必要な方には介助をしている。	個別療育の為、利用児童に合わせた関わりを行っていきたい。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	50				支援計画やモニタリングなど半年に一度以上、説明を受けている。	保護者の方と情報共有を行い、支援計画とモニタリングを作成している。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	46	5			活動内容が子どもに沿った内容になっている。	個々に合わせた活動を考案し、マンネリ化しないようにする。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか					サービスなし。	交流を行っていないが、検討していきたい。
保護者への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	46	5			その都度に説明を受けている。	支援計画やモニタリング等保護者の方に理解してもらえるようにお伝えしている。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	46	5			毎回活動後に情報共有を行っている。	保護者や職員間の情報の共有を徹底して行い、保護者とのズレが無いようにする
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	46	5			療育前後で職員と情報交換をしている。	必要に応じて機会を設けられるようにしていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか					サービスなし。	勉強会の機会を増やせるよう、検討していきたい。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	50	2			店舗のリーダーが主に対応されている。	苦情については、直ちに保護者の方に説明を行い、適切な対応を行っている。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	46	5			療育前後で保護者と職員で情報交換できる機会がある。	日々の療育のフィードバック等で保護者の方と情報共有をしている。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	46	5			ホームページや事業所内掲示により掲載されている。	保護者の方に分かりやすいようにしていく。
	14 個人情報に十分注意しているか	50	2			ご意見無し。	今後も個人情報の扱いには十分注意していきたい。
非常時等 の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	50	2			避難経路図が保護者席から見える位置に配置してある。	今後も定期的に説明を行っていく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	50	2			避難訓練に参加したことがありますが、迅速な対応でした。	今後も職員の意識を引き上げていきたい。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	50	2			日により気持ちの浮き沈みが激しいため一概に言えない。	今後も子ども達が楽しめるように提供していきたい。
	18 事業所の支援に満足しているか	50	2			予約が取れないことが多く不満。	日々のフィードバック等で保護者の方に不安や支援方法へのズレが無いように努めていく。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に依り柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

別添資料6

公表：2022年 3月 1日

事業所名 発達支援ルームピースプラント3くみ 保護者等数(児童数) 42 回収数 42 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	41		1		運動を行うには十分なスペースである。	安全に配慮してスペースを確保する。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	42				職員の子どもに対する声掛けが適切だと感じる。	今後も保護者の方や子どもの情報交換を行い、成長を促していきたい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	42				エレベーターがない。	エレベーターはないが、必要な方には介助したり安全な方法で来所していただけるように配慮している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	42				療育室内は広く、活動をしやすい環境になっている。	今後も療育室内を清潔で、安全に療育出来るようにしていきたい。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	42				保護者では気づかないような方法で対応しており、子供の成長も感じることができている。	子どもの成長に合わせて、保護者の人と話をして支援計画を作成していきたい。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	42				保護者の希望を取り入れながら子どもに合った計画を設定して頂いている。	今後も子どもや家族に支援出来るようにしていきたい。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	42				子どもに合った支援が行われており、とても成長を感じる。	今後も子どもの成長に合わせて支援をしていきたい。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	42				毎回先生が違うので全然違うことに見えますが、お話を聞くと目的が同じなことに驚かされました。	個々に合わせた活動を考案し、マンネリ化しないようにする。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある					サービスなし。	子どもに合わせて必要な支援があれば、そのような機会を作っていけるようにしていきたい。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	42				その都度に説明を受けている。	今後も保護者の方に必要な情報を分かりやすく説明し、保護者の方が安心できるようにしていきたい。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	42				支援計画やモニタリングなど直接説明を受けている。	保護者の方と情報交換をしていき、子どもの成長を促していきたい。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている					サービスなし。	療育後など保護者に情報交換を行い、家族の方に支援できるようにしていきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの健康や発達の状況、課題について 共通理解ができているか	42				体調や集中力などその 日の状態に合わせてい ただけるので助かりま す。 ルールの理解やコミュ ニケーションの取り方な ど子供の課題に合った 課題を行っている。	今後も療育だけではなく、保護者 の方と情報交換できるようにして いきたい。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われている					サービスなし。	今後も療育だけではなく、保護者 の方と情報交換し、少しでも成長 につながるようになっていきたい。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開 催等により保護者同士の連携が支援されて いる					サービスなし。	保護者同士でコミュニケーション が取れる機会を作っていきたい。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについ て、対応の体制が整備されているとともに、 子どもや保護者に周知・説明され、相談や申 入れをした際に迅速かつ適切に対応されて いる	42				児童発達支援管理責任 者やリーダーが主に対 応されている。	今後もどの職員でも相談し解決 できるようにしていきたい。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮がなされている	41	1			専門的な視点から話を 伺うことができ、家でも 試せることを教えていた だいてありがとうございます。	保護者の方と情報交換をしてい き、子どもの成長を促していきた い。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概 要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に 関する自己評価の結果を子どもや保護者に 対して発信されている					サービスなし。	保護者の方に分かりやすいよう にしていきたい。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	42				ご意見無し。	今後も個人情報の扱いには十分 注意していきたい。
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアル等を策定し、保護者に 周知・説明されている。また、発生を想定した 訓練が実施されている	42				避難経路図が保護者席 から見える位置に配置 してある。	今後も定期的に出来るようにして いきたい。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出、その他必要な訓練が行われている	42				避難訓練に参加したこ とがありますが、迅速な 対応でした。	今後も職員も意識できるようにし ていきたい。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	38	4			来ることを楽しみにして いる。先生と一緒に行っ ていることを園でも友達 と遊んでいる。	今後も子ども達が楽しめるような 課題に取り組んでいきたい。
	23	事業所の支援に満足している	42				今までで出来なかつ たことができるよう になった。 日常生活での色んな 動作がスムーズに なった。	今後も子ども達に達成感を感じ てもらえるような支援をして いきたい。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

別添資料11

公表: 2022年 3月 1日

事業所名 発達支援ルームピースプラント3くみ 保護者等数(児童数)106 回収数 102 割合 96 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	99		3		小学校高学年になるとスペース的に2人療育は難しい。隣に対してヒヤツとすることがあった。	安全に配慮してスペースを確保する。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	100		2		職員によって療育内容に差を感じる。	研修や職員間の情報の共有を通してより良い療育を行う。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	102				エレベーターがない。	エレベーターはないが、必要な方には介助したり安全な方法で来所していただけるように配慮している。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	102				支援計画やモニタリングなど半年に一度以上、説明を受けている。	保護者の方と情報共有を行い、支援計画とモニタリングを作成している。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	102				活動内容が子どもに沿った内容になっている。	個々に合わせた活動を考案し、マンネリ化しないようにする。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか					サービスなし。	交流を行っていないが、検討していきたい。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	102				その都度に説明を受けている。	支援計画やモニタリング等保護者の方に理解してもらえるようにお伝えしている。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	74	28			情報の共有が出来ていないと感じる。	保護者や職員間の情報の共有を徹底して行い、保護者とのズレが無いようにする
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	102				療育前後で職員と情報交換をしている。	必要に応じて機会を設けられるようにしていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか					サービスなし。	勉強会の機会を増やせるよう、検討していきたい。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	102				店舗のリーダーが主に対応されている。	苦情については、直ちに保護者の方に説明を行い、適切な対応を行っている。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	102				療育前後で保護者と職員で情報交換できる機会がある。	日々の療育のフィードバック等で保護者の方と情報共有をしている。
13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	102				ホームページや事業所内掲示により掲載されている。	保護者の方に分かりやすいようにしていく。	

	14	個人情報に十分注意しているか	102				ご意見無し。	今後も個人情報の扱いは十分注意していきたい。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	102				避難経路図が保護者席から見える位置に配置してある。	今後も定期的に説明を行っていく。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	102				避難訓練に参加したことがあります。迅速な対応でした。	今後も職員の意識を引き上げていきたい。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	84	17	1		日により気持ちの浮き沈みが激しいため一概に言えない。	今後も子ども達が楽しめるように提供していきたい。
	18	事業所の支援に満足しているか	92	8	2		予約が取れないことが多く不満。	日々のフィードバック等で保護者の方に不安や支援方法へのズレが無いように努めていく。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

別添資料6

公表： 2022年3月1日

事業所名 発達支援ルーム ピースプラント4くみ 保護者等数(児童数) 16 回収数 16 割合 100 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	16	0	0	0	活動に取り組みやすいスペースが確保されている。	活動に安全面を持って、取り組んでいきたい。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	14	2	0	0	職員が良く対応してくれている。	今後も保護者の方や子どもの情報交換を行い、成長を促していきたい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	14	2	0	0	1階にありバリアフリー化されている事や視覚支援があり、子どもに分かりやすい配置になっている。	今後も子どもに分かりやすい設定で発達を促せるようにしていきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14	2	0	0	療育室内は広く、活動しやすい環境になっている。	今後も療育室内を清潔で、安全に療育出来るようにしていきたい。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	13	3	0	0	支援計画やモニタリングなど半年に一度以上、説明を受けている。	子どもの成長に合わせて、保護者の方と話をし支援計画を作成していきたい。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	14	2	0	0	療育内容や支援内容、家族支援が設定されている。	今後も子どもや家族に支援出来るようにしていきたい。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	14	2	0	0	支援計画に基づき、支援内容が設定されている。	今後も子どもの成長を促せられるようにしていきたい。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	11	5	0	0	活動内容が子どもに沿った内容になっている。	今後も子どもに必要な活動内容を提供できるようにしていきたい。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	0	6	10	あまり設けていない。	子どもに合わせて必要な支援があれば、そのような機会を作っていけるようにしていきたい。
適切な支援の提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	13	3	0	0	その都度に説明を受けている。	今後も保護者の方に必要な情報を分かりやすく説明し、保護者の方が安心できるようにしていきたい。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	16	0	0	0	支援計画やモニタリングなど直接説明を受けている。	保護者の方と情報交換をしていき、子どもの成長を促していきたい。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	0	0	4	12	ペアレントトレーニングは実施していない。	療育後など保護者に情報交換を行い、家族の方に支援できるようにしていきたい。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	14	2	0	0	療育前後で職員と情報交換をしている。	今後も療育だけではなく、保護者の方と情報交換できるようにしていきたい。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	13	3	0	0	色々挑戦する機会が作れている。	今後も子ども達に達成感を感じてもらえるような支援をしていきたい。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	0	0	6	10	父母の会や保護者会等は、行っていない。	今後も保護者同士でコミュニケーションが取れる機会を作っていきたい。
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	10	6	0	0	児童発達支援管理責任者やリーダーが主に対応されている。	今後もどの職員でも相談し解決できるようにしていきたい。	



	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	14	2	0	0	療育前後で保護者と職員で情報交換できる機会がある。	保護者の方と情報交換をしていき、子どもの成長を促していきたい。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	10	1	0	5	ホームページで定期的に発信されている。	保護者の方に分かりやすいようにしていきたい。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	16	0	0	0	施錠できる場所に保管されている。	今後も個人情報の扱いには十分注意していきたい。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	10	2	0	4	災害での対応は定期的で開催している。	今後も定期的に出来るようにしていきたい。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	9	0	0	7	定期的で開催している。	今後も職員も意識できるようにしていきたい。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	16	0	0	0	楽しみにしている。	今後も子ども達を楽しめるような課題に取り組んでいきたい。
	23	事業所の支援に満足している	16	0	0	0	色々挑戦する機会が作られている。	今後も子ども達に達成感を感じてもらえるような支援をしていきたい。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公

別添資料11

公表: 2022年 3月 1日

事業所名 発達支援ルーム ピースプラント4くみ 保護者等数(児童数) 55 回収数 50 割合 95 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	50	0	0	0	運動を行うには、十分なスペースだと思う。	子どもの人数や活動内容に応じて安全に活動が出来るように配慮をしています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	45	2	0	3	活動内容によっては、人数が少ないと思う時がある。	職員の内容に応じて、活動内容の順番を考慮しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	42	3	0	5	一階に事業所がある。	事業所が1階にあるため、車いすの出入りは可能です。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	50	0	0	0	支援計画やモニタリングがある。	保護者の方と情報共有を行い、支援計画とモニタリングを作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	45	5	0	0	色々な活動を行っている	子どもの特性からプログラムを提供して、固定化がないよう、職員同士で活動内容を考えています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	0	45	5	交流する機会がない。	交流を行っていませんが、機会があれば検討をしていきたいと思えます。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	48	2	0	0	説明してくれる。	支援計画やモニタリング等保護者の方に理解してもらえるようにお伝えしています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	45	5	0	0	出来ている。	日々のフィードバックにて、保護者の方と情報共有を行っています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	44	6	0	0	子どもに合わせて機会を設けられている時がある。	必要に応じて機会を設けられるようにしていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	0	40	10	していないと思う。	勉強会の機会を増やせるよう、検討していきたいと思えます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	42	0	0	8	していると思う。あまり分からない。	苦情については、直ちに保護者の方に説明を行い、適切な対応を行っています。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	47	3	0	0	している。	日々の療育のフィードバック等で保護者の方と情報共有を行っています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	41	6	0	3	している。	行事やイベントがある場合はSNS等で知らせています。
非常時等の対応	14 個人情報に十分注意しているか	50	0	0	0	している。	施錠付きのロッカーに保管しています。また、写真等をSNSで発信する時は、必ず保護者の方に許可を得ています。
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	45	0	0	5	知っている。	緊急時、災害時、感染症のマニュアルを作成し、職員や保護者の方にも周知してもらっています。
満足度	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	43	5	0	2	行われていると思う。	災害時に備え、年に2回以上避難訓練を行っている。
	17 子どもは通所を楽しみにしているか	46	4	0	0	楽しみにしている。気分によって嫌がる時がある。	利用児に楽しみにしてもらえよう今後も努めていきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	45	5	0	0	満足してる。活動内容に疑問を感じる時がある。	日々のフィードバック等で保護者の方に不安や支援方法へのズレが無いように努めていきます。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休